

⚠ 安全上のご注意

● 使用上の注意

- 天板の上に立ち上がったり、踏台代わりに使わないでください。
- 天板の端に腰かけないでください。
- テーブルのすべての脚が床面に着いた状態で使用してください。
- クッションフロアの上で使用しないで下さい。床を傷つけることがあります。
- 取り付け金具などの固定ネジ類がゆるんでないか時々点検し、ゆるみ始めたらしっかりと締めなおしてください。
- 壁面に設置してご使用ください。

● 保守・点検

- ショーバンや金具類などの固定用ネジがゆるんでないか時々点検し、ゆるみ始めたらしっかりと締め直してください。ゆるんだまま使っているとドアがこわれて、ケガをすることがあります。
- 天然素材を使用しておりますので、虫害を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。他から虫が入ったことも考えられますので、放置すると虫害が拡大する恐れがあります。

● 手入れ方法

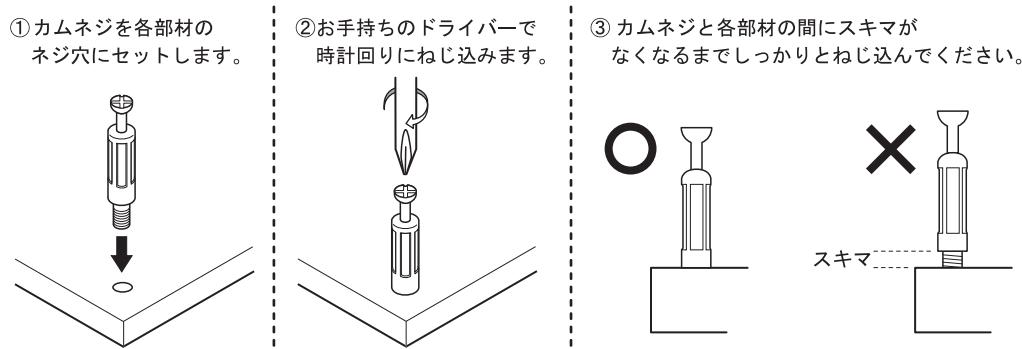
- 日常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れのひどい時は、薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、よく絞った布で洗剤を拭き取り、次に乾いた柔らかい布できれいに拭き取ってください。
※シンナーなどの揮発性の物では拭かないでください。

● 施工上の注意

- 本製品のねじ締付けときには、電動工具は使用しないでください。手まわしドライバーで施工して下さい。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
 - 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含有率19%以下)を使用し、湿潤材(グリーン材)は使用しないでください。壁内の通気が悪く、内部結露するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
 - 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
 - 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。かい木には、合板等の乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合には、造作材・建具枠木口と床面に、必ず防水処理をしてください。
 - 養生シートをかぶせる場合には、粘着テープ等を化粧面に貼らないでください。はがす際に、化粧シートが破損するおそれがあります。
 - 発熱燈付近には取り付けないで下さい。熱により、部品が変形するおそれがあります。
- ※正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読み頂き大切に保管してください。

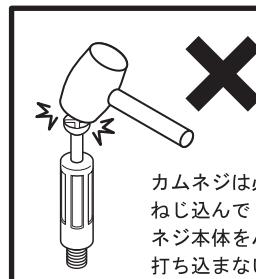
【組立て前に必ずお読みください。(下記の方法で本体の組立てを行います。)】

《カムネジの取付け方法》



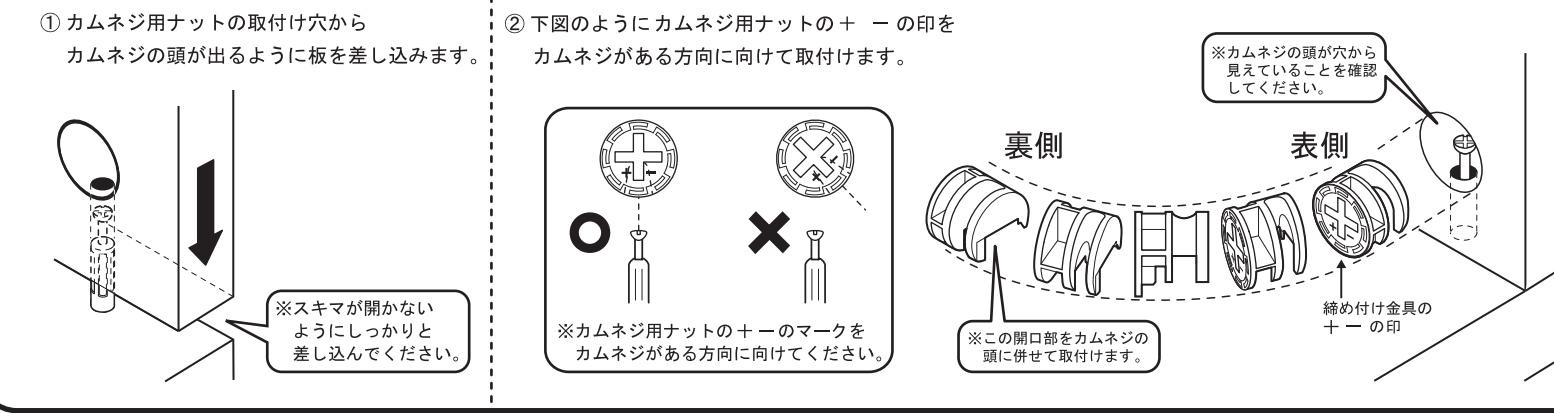
⚠ 注意

※組立作業は必ず2人以上で行って下さい。



※使用されるドライバーはネジの頭に合ったサイズのドライバーをご使用ください。
異なるサイズのドライバーで締め付けますと、ネジやボルトの頭(+)をつぶしてしまう恐れがありますので、ご注意ください。

《カムネジ用ナットの取付け方法》



パーツリスト

① 天板	② 脚	③ 幕板	④ カムネジ	⑤ カムナット	⑥ 木ダボ
×1	×2	×1	×17 (予備+1)	×17 (予備+1)	×4

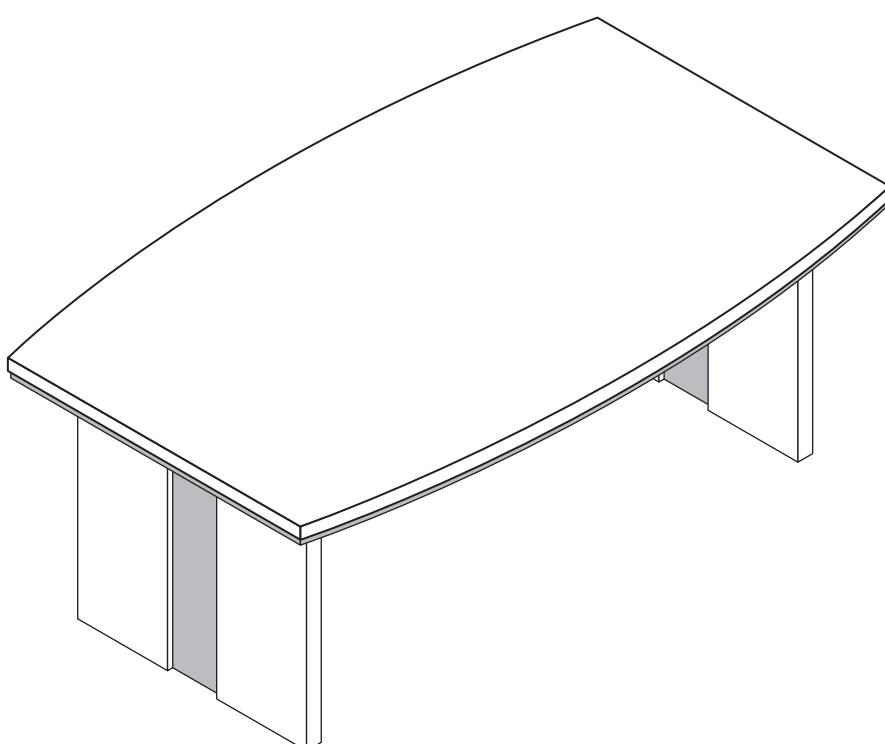
《組立前の注意》

※組立ての前に本書をよくお読みになって、正しく組み立ててご使用ください。

※組立ての前に部品・部材の数量を確認してください。

※組立ての際、ケガをしないように必ず手袋を着用してください。

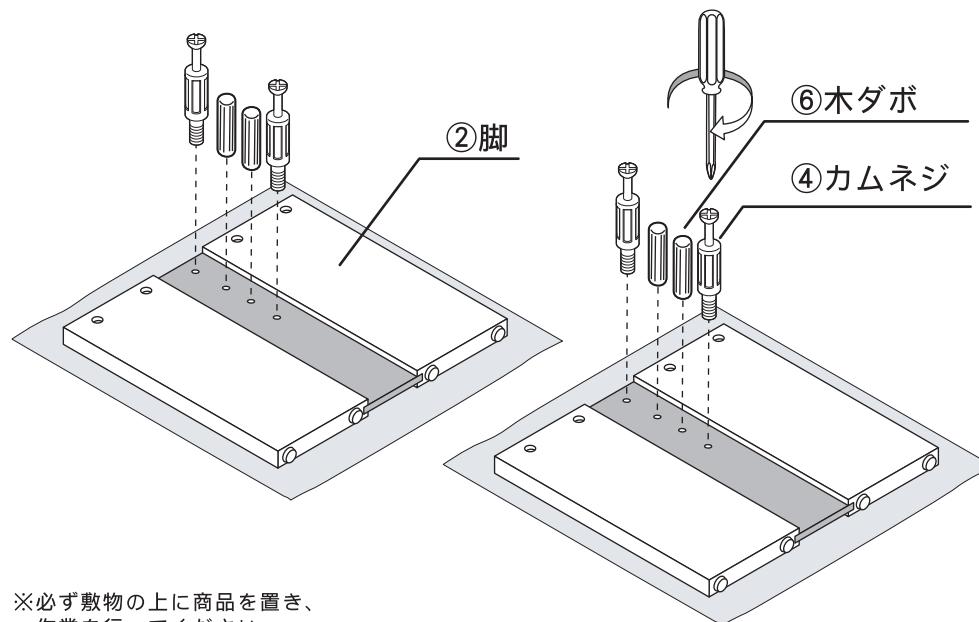
完成図



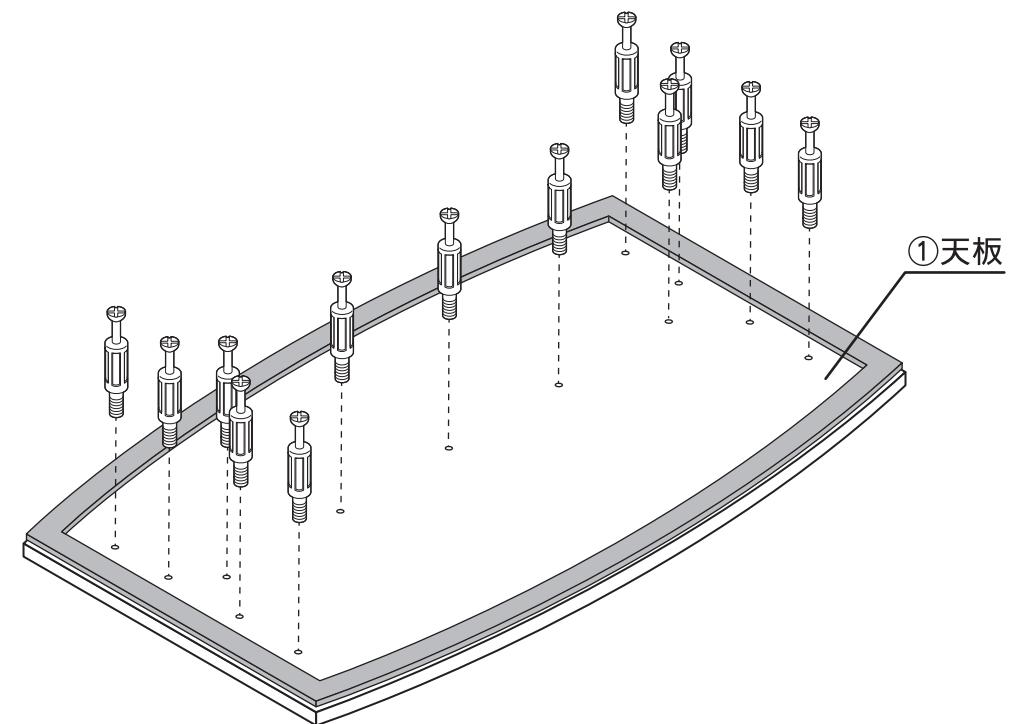
《組立手順》

1 カムネジとダボの取り付け

①天板と②脚に④カムネジを取り付け、②脚には⑥木ダボを取り付けます。

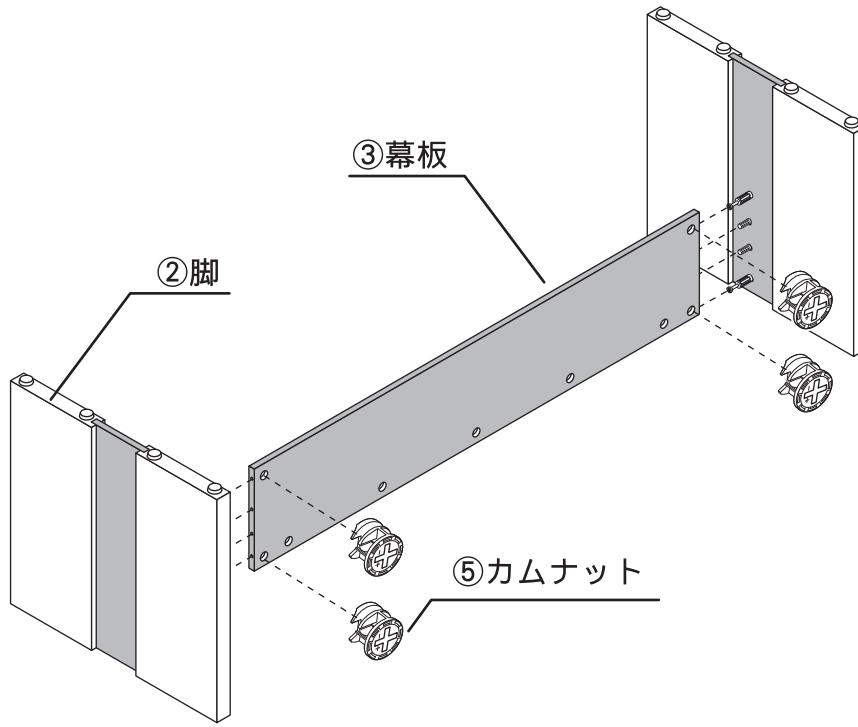


*必ず敷物の上に商品を置き、作業を行ってください。



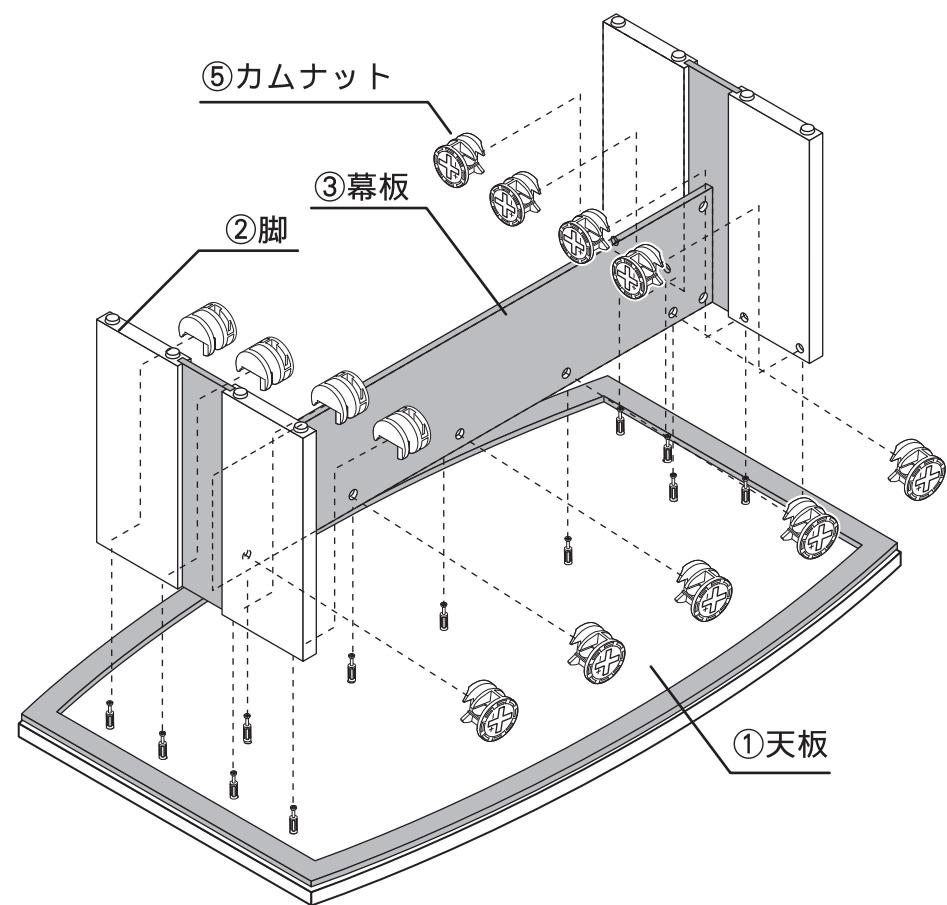
2 幕板と脚の組立

②脚と③幕板を下図の様に差し込み、⑤カムナットで固定します。



3 天板と脚の組立

工程②で組み立てた脚・幕板を①天板に下図の様に差し込み、⑤カムナットで固定します。



4 完成

組み上げた本体を起し、完成です。

